

暮らしを楽しく快適にするリフォームマガジン

DAIKEN
REFORM
MAGAZINE

ダイケンリフォームマガジン



“WEB 会議”の音声をクリアに！ 吸音・調湿・音配慮で長時間過ごせる快適空間を（テレワーク向けのリフォームシリーズ Vol.2）

新しい生活様式への対応などにより働き方改革が進み、テレワークが普及しつつあります。在宅で仕事ができれば、通勤や移動に費やしていた時間を自由に使えるようになり、プライベートの充実なども図ることができます。

一方で、実際に自宅でテレワークをしてみて、予想していなかった問題や不便さに気づいたという人が少なくないようです。WEB 会議の際に室内で音が反響して声が聞き取りづらかったり、室外への音漏れが気になったり、なぜかストレスが溜まりやすかったり…

…。

そこで今回は、自宅で長時間テレワークをする際の快適空間づくりについてご紹介します。

WEB 会議で「声が聞き取りにくい」は大問題



テレワークが一般化することで、実際に自宅で WEB 会議をする機会が増えたという方は多いと思います。そのような状況で、注目されてきているのが「音」の問題です。

仕事における WEB 会議の重要性が非常に高まっている現在、音声のやりとりが円滑にできないと仕事に支障がでる可能性もあります。相手の声が聞き取りにくい場合は、こちらの声も相手にきちんと伝わっていないかもしれません。

WEB 会議をするうえで、まず重要なのはクリアな音声で会話ができることでしょう。

現代の住宅は気密性が高くなり、家の中で音が反響しやすい空間になっている傾向があります。そのような環境では音が響いてしまい、話し声などが聞き取りにくくなりがちです。

こうした状況を改善するために検討したいのが、吸音性能を備えた天井材や壁材へのリフォームです。

ここで、音の伝わり方と吸音について簡単に説明しておきましょう。室内で発した音は空気中を波のように広がりながら伝わり、天井や壁にぶつかって反響し、残響となって室内に響きます。

吸音とは、物体に音がぶつかった時に、音のエネルギーを摩擦によって低減して反射を抑える現象をいいます。このことから、天井や壁などに吸音効果のある建材を使えば、よいいな音の反響をおさえることができるのです。

DAIKEN なら、その吸音性能をもつ建材のラインアップも豊富です。

音をクリアにする“吸音”で部屋が快適空間に



まずはじめに紹介するのが、DAIKEN の吸音天井材『クリアトーン 12SⅡ』。表面に開いた無数の小さな穴と内部の繊維が音を吸収し、反響音を減らします。この天井を設置することで WEB 会議での音声聞き取りやすくなるだけでなく、室内に響く子どもの声や不快な生活音が和らぎ、話し声やテレビの音も聞き取りやすくなるので、日常生活におけるストレスも減り、快適になります。



さらに『クリアトーン 12S II』は、室内の湿度を整える調湿機能も備えています。湿度が高いときは空気中の湿気を吸い込み、湿度が低いときはため込んだ湿気を放出することでお部屋をちょうどよい湿度に整えて快適空間をつくりだします。長時間自宅過ごすテレワークでは、とてもありがたい機能といえるでしょう。



壁には、DAIKENの壁材『オトピタ』の設置がおすすめです。オーディオルームやリスニングルームにも使用される本格的な建材で、壁に取り付けるだけで優れた吸音性能を発揮します。『クリアトーン 12S II』と『オトピタ』を組み合わせれば、より効果的に反響音を減らすことができ、テレワークやWEB会議するのに適した空間が誕生します。

音や湿度は目に見えませんが、快適さには大きく関わるものです。

これからも長い時間を過ごすことになる自宅には、より快適な空間が作られる吸音・調湿機能付きの建材を導入すると、より幸せな生活が得られるでしょう。

音漏れ・雑音を防ぐ、部屋の防音リフォーム

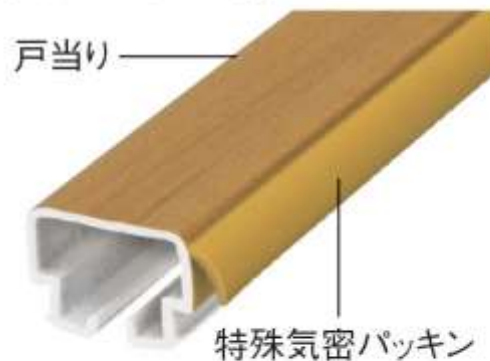
テレワークで WEB 会議を行っている時、室外への音漏れ具合も不安になります。また、隣の部屋にいる家族やペットなどの生活音が気になる場合もあるでしょう。

その場合は部屋のドアを DAIKEN の『hapia（ハピア）音配慮ドア』にリフォームしてみたいかがでしょうか。

特殊パッキンなどの機能を搭載して、室外に漏れる音に配慮したドアで、一般的なリビングドアに比べ音漏れをおよそ半分に減らせます。

気密度を高める特殊気密パッキン

特殊気密パッキンの色はドア本体と同系色を使用しています。



密閉度を高める エアタイト

沓摺がなくても密閉度を高める、エアタイトパッキンがドア下に組み込まれています。パッキンはドアの動きと連動しますので、扉を閉めた状態で自動的に床との隙間を密閉します。



扉を閉じた状態(パッキン出) 扉を開けた状態(パッキン引)

また、窓を閉めているのに家の外の雑音が入ってくるといったことはないでしょうか。その場合、24時間換気で使用している換気口を通して外から音が入ってきたり、室内の音が外に漏れている可能性があります。

そのような状況でおすすめなのが、DAIKENの『自然給気用サイレンサー』です。この製品を換気口の壁中パイプ内に設置することで、換気口からの音の出入りをおさえることができます。特に道路交通音や虫の鳴き声などの少し高めの周波数騒音に対して有効です。

『hapia (ハピア) 音配慮ドア』とともに、自宅内の静かな環境づくりと近隣への音漏れを防ぐのに役立つ商品です。



道路交通音

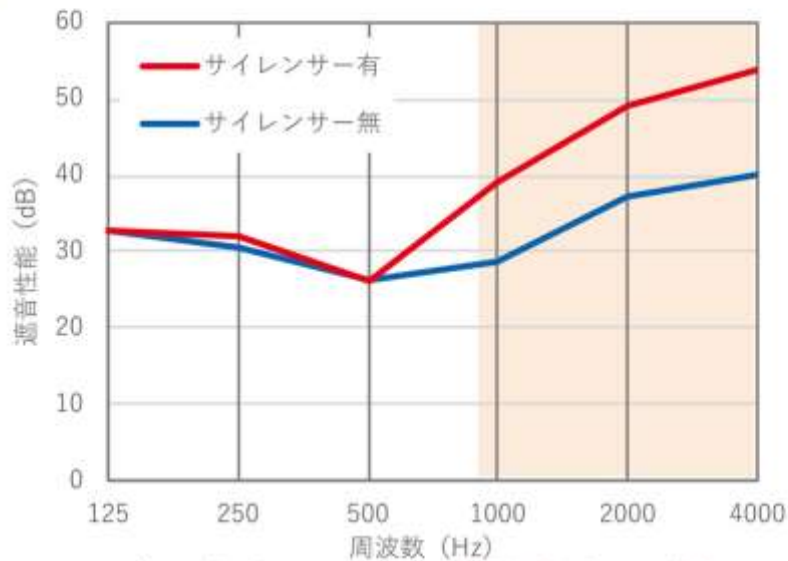


鳥や虫の鳴き声



1KHzで約10dB減衰します。
これにより、半分位の音に小さくなったと
感じます。

■遮音性能



※プッシュ式レジスター11型+フードM01型の組み合わせの場合。



また、換気扇からの音漏れ・外からの騒音侵入を防ぐには、遮音性能が高い DAIKEN の熱交換型換気扇『DK ファン NK』の導入もおすすめです。

1 台で給気と排気が可能で、部屋の快適な温度を逃さずに換気をすることもできる高性能な逸品です。



熱交換型換気扇『DK ファン NK』の詳細な内容は、下記の記事を参照ください。

⇒ [「効率良く空気を入れ換えるなら換気扇の掃除を！ さらに遮音により省エネにもなる“熱交換型換気扇”への交換も」](#)

テレワークの機会が増えるこれからのワークスタイルにおいて、快適に仕事ができる「音」環境はぜひともつくっておきたいところです。リフォームを検討する際には、ぜひ DAIKEN の建材をご活用ください。

【DAIKEN リフォームマガジン 2020 年 9 月号掲載】